2022年1月15日（土）10：00～11：30、本会会員で、ウオーターエイドジャパン理事長の小寺清氏をお招きしてオンライン報告会を開催しました。事前登録された会員13名程度が参加されました。お話の題目は**「**日本の国際保健外交と保健ODA**」でした．**

小寺さんは、1974年東京大学法学部卒業後。大蔵省（現財務省）入省。在米大使館一等書記官、アフリカ開発銀行理事、米州開発公社理事、世界銀行中央アジア局長、国際局次長、副財務官などを経て、2006～2010年まで世界銀行・IMF合同開発委員会事務局長。2010～15年、国際協力機構（JICA）理事。2018年よりウオーターエイドジャパン理事長を務めておられます。

小寺さんからは、添付のPDF資料に基づきユニバーサルヘルスカバレッジ（UHC）の国際的推進の活動と進展状況について具体的かつ内容豊富、かつ示唆に富むご説明がありました。詳細は添付資料をご覧ください。

コロナ禍のなか、皆さまの関心の強いテーマでありましたので，質疑に入りますとたくさんのご質問を頂きました．UHCの達成とは具体的には何を意味しているのか、最近の米中のワクチン外交をめぐる状況についての考察、UHCにおける民間の健康保険の果たす役割、製薬会社の利害とUHCとの関係、UHCを目的とした援助のモダリティについて、健康保険でカバーされていない人々の数は、UHC推進における各国財務省の役割、模範的な皆保険制度とはどの国を指すのか、などについて、浦田秀次郎さん、黒田和秀さん、吉田茂樹さん、小林文彦さん、浅沼伸爾さん、大久保良夫さんから（以上質問順）ご質問をいただきました。

ご報告頂きました小寺さんには心より感謝しております。ありがとうございました．

（記録：安間）